



V 札幌水道の今後の目指すべき方向

1 基本理念

基本理念

利用者の視点に立つ

水道普及率が100%近くに達し、量的な充足に加えて、質的な充実が求められる中、水道事業者は、独占事業で利用者に選択の余地がないことを謙虚に受け止めるとともに、サービスの内容や質の検討に当たっては、利用者のニーズを十分把握し、かつ、サービスの水準とコストとのバランスに留意しながら、利用者の視点に立った事業運営を展開していきます。

また、水道事業は、市民の生命や健康に直接関わる事業であることから、地方公営企業など公共の関与のもと、民間的経営手法を取り入れ、経営の効率化、さらには顧客指向による利用者サービスと信頼性の一層の向上に努め、安全で良質な水を安定して供給していきます。